

上高津貝塚ふるさと歴史の広場

テーマ展 土浦の遺跡17

古代の大津郷 霞ヶ浦にのぞむ新しいムラ

期間

9月23日(金)～11月27日(日)

展示案内会

とき/10月9日(日)、11月3日(木) 午後2時～2時30分

ところ/考古資料館1階 特別展示室

※記念講演会、展示案内会(10月9日)は、入館料が必要です。

バスツアー「湖岸の歴史的景観をたずねて」

古代大津郷にあたる霞ヶ浦土浦入りの北岸を歩きます

とき/10月29日(土) 午前9時～正午(小雨決行)

ところ/川尻川河口周辺、崎浜横穴墓群(かすみがうら市)など

定員/20人(小学生以上。定員を超えたときは抽選)

参加料/50円(資料代・保険料)

申込方法/往復はがきで(住所、氏名、電話番号を記入)

※はがき1枚につき5人まで。小学生は保護者同伴

申込締切/10月14日(金)(必着)

休館日/毎週月曜日(10月10日を除く)、10月11日(火)、11月4日(金)、11月24日(木)

開館時間/午前9時～午後4時30分

入館料/一般：105円、小・中学生、高校生：50円(20人以上の団体は一般：75円、小・中学生、高校生：30円)

※毎週土曜日は小・中学生、高校生入館無料

◎文化の日(11月3日(木))・県民の日(13日(日))は入館無料

申間上高津貝塚ふるさと歴史の広場(T300・0811)

上高津1843 ☎826・7111

土浦市東部、霞ヶ浦にのぞむ田村町・沖宿町から、かすみがうら市の戸崎・加茂にかけての一带は、古代常陸国の茨城郡大津郷にあたります。古代の霞ヶ浦は、人や物を船で運ぶ水上交通が盛んでした。大津郷という地名も、この地にあつた津(港)に由来すると思われまます。

土浦市の田村・沖宿遺跡群の発掘調査では、霞ヶ浦に近い台地上から、多数の住居や倉庫、そしてお寺の跡などが見つかっています。大津郷という地名が物語るように、遠方からの物資の運搬が盛んに行なわれていたことが、出土資料からうかがえます。

ここでの暮らしや経済活動を支えたのが仏教信仰であり、火葬や文字などの先進文化も積極的に受容されていきました。こうした「新しいムラ」の出現から、人、モノ、文化が行き交った古代の霞ヶ浦が見えてきます。



この展覧会では、田村・沖宿遺跡群の発掘調査成果を中心に、霞ヶ浦との関わりが深い古代の大津郷を紹介します。

▲空から見た田村・沖宿遺跡群

記念講演会

●出土文字が語る古代の大津郷とその周辺

とき/10月23日(日) 午後2時～3時30分

講師/高島英之さん(群馬県教育委員会)

テーマ展講座

●古代常陸国の津と交通

とき/11月13日(日) 午後2時～3時30分

講師/考古資料館学芸員

◎共通

ところ/考古資料館2階 体験学習室

定員/60人(先着順)



▲骨蔵器 八幡脇遺跡出土



▲墨書土器「国厨」長峯遺跡出土